

2015年 新年社長挨拶

2015年1月5日

株式会社クラレ

代表取締役社長 伊藤 正明

私はこの1月1日に社長に就任し、初めて新年のご挨拶をさせて頂くわけですが、今回は4つの新しい、4つのNEWがあります。まずは新年という新しい、次は新社長という新しいがあり、そして新年度と新中期経営計画が同時にスタートするという新しいがあります。この新年にあたりまずは新社長として私の略歴と抱負を語り、そして皆さんへのお願いを述べたいと思います。

私は34年半のクラレグループ生活の内、21年間は繊維や縫製の生産現場で仕事をし、9年半は生産管理とクラレ・クラレトレーディングで経営企画のスタッフとして仕事をし、4年間はメタアクリル事業部長を務めました。

その中でも、2年間中国に駐在して縫製会社の設立と工場立ち上げをやったことは、本当に苦勞しましたが勉強になりました。中国での会社設立はクラレグループでも初めての経験でしたし、縫製の「ほ」の字も知らない私が、縫製工場を立ち上げたのです。とにかく皆さんに聞いて教えてもらうしかありません。中国の沢山の役所・税関・銀行・電力会社や建築会社、縫製の取引先様・マシン会社・設備企業・社内の縫製担当者、コンサルタント会社など、廻りの全ての方々に頭を下げて教えてもらい、実際にやってみて問題にぶち当たると自分なりに考えて、それからまた教えてもらうという繰り返しでした。

この経験を通して私は、知らない事を聞くのは全く恥ずかしくなくなりました。また、素直に頭を下げて教えを請えば、大多数の人はそれに応えて、親切に教えてくれるということを知りました。

今私は、会社の内外を問わず、皆さんの話をよく聞いてしっかりジャッジし、着実に実行・実践する社長になりたい、と考えています。そのためには社内の皆さんの所に色々と教えてもらいに伺い、また取引先への同行や、有識者の方の紹介をお願いもさせて頂きます。今後とも、皆さんのご支援・ご協力をお願い致します。

次にクラレの社長として、改めてクラレグループの皆さんにお願いしたいことが3つあります。

一番目は「安全・安心な職場、会社」ということです。我々は生活の糧を得るために当社で働いています。更に、ここで働く以上はもっと良い会社にして、或いはもっと給与を貰えるようになって、より良い生活をしたいと思って働いています。つまり我々は幸せになるために、ここで働いているのだと思います。その会社で、病気であれ怪我であれ、不幸になるようなことが有ってはならないと思います。私はクラレグループを、そういうことが無い、そういうことが起こらない職場・会社にしたいと考えています。「安全は全ての礎」という理念を常に心に

置いて、明るく健康に働ける安心な職場、事故・災害を起こさない安全な職場を目指して、全員が当事者意識と責任感を持って取り組んで頂きたいと思います。

二番目は「より良く生きる」ということです。高い倫理観と「思い」を持って仕事に取り組んで、クラレグループの発展と自分自身の成長を目指す。会社の外にあっては家族や社会に対する責任と義務を果たしながら、人間的な成長とより良い生活を求め、結果として幸せな人生だったと言えるように、日々を過ごして頂きたいと思います。

三番目は「変化に挑戦しうる人」になって欲しいということです。

(これは土光敏夫さんが「経営の行動指針」という著書で書かれた言葉です)
現代は目まぐるしく変化していく時代、その変化も変革と呼ぶ方が相応しい大きな段差が生じる時代です。この様な時代を生きる我々は、ただ腕を組んで考えていてもどうにもなりません。まず変化に備えて自身の能力アップを目指し、勉強して状況把握に努める。その上で、大きな潮流を見定めて挑戦する、更には変化に対応するだけでなく自ら変化を起こす社員になって頂きたいと思います。

今日から新年度が始まりますが、デュポンから来たG L S事業のメンバーも加わって、一段と事業規模・陣容が拡大した中で、新しい中期経営計画も同時にスタートする記念すべき日となります。

新中期経営計画であるG S - S T E Pは、具体的な数値目標として 2017 年度売上高 6,500 億円、営業利益 900 億円を掲げています。この数値目標はG L S事業も含め、あくまで既存事業の規模と収益拡大、そして収益性向上をベースとして組み上げたものであり、M&Aによる売上・利益の拡大は織り込んでおりません。これは、前中期経営計画「G S - III」で取り組んだ諸施策の成果を確実に結実させることと、その期間中に積み残したり、新しく見えてきた課題を着実に実行していくことこそが、次の中期計画の課題であると考えているからです。今の時点で見えていないM&Aを織り込まなかったのは、課題解決による成長という意識が薄まることも懸念した結果と言えます。しかしながら、M&Aはやらないという意味ではなく、あくまで好球必打で取り組んでいく積りです。ここで言う好球とは良い案件、良い相手、良いタイミング等を含めた意味で使っています。

昨年決まった 10%消費増税の先送り、日銀の追加緩和の後、円安が更に進み通貨戦争の再燃も懸念される一方、原油価格の低落なども有り、今年も色々な事柄や事象が起こることと思います。しかし、我々はこれらの事柄に右顧左眄することなく、目の前の課題を着実に解決して、次なるステップを目指し取り組んで行きましょう！

以上